

# 令和8年度第1回「しがこども体験活動指導者研修会」 を開催しました

令和8年5月28日（木）、滋賀県庁にて、子どもの体験活動に関わる団体、施設、指導者等が一堂に会し、講演や意見交換等を通して、子どもの体験活動の充実と支援者のスキルアップを図ることを目的に、令和8年度第1回「しがこども体験活動指導者研修会」を開催しました。会場参加者22名、オンライン参加者42名、合計64名の参加がありました。

研修会では、自然体験活動安全管理マニュアル作成の手引きについての説明、一般財団法人 滋賀YMCA 常務理事 久保田 展史 氏を講師にお招きし、「多様な体験活動の企画のために」～キャンプを例に～と題した講演、参加者同士の意見交換を行いました。



日 程	内 容
13:10	受 付（オンライン接続開始）
13:30	開会行事 開会あいさつ 日程説明
13:40	説 明：自然体験活動安全管理マニュアル 作成の手引きについて
13:50	講演「多様な体験活動の企画のために」 ～キャンプを例に～ 講師：一般財団法人 滋賀YMCA 常務理事 久保田 展史 氏
15:05	休 憩
15:15	グループ交流、活動等の情報交換
16:00	グループより発表 講師より助言
16:15	閉 会

## <講演の様子>

「多様な体験活動の企画のために」～キャンプを例に～

自然体験活動に長年取り組まれている久保田様から、体験活動を企画する際に指導者として気を付けたいことについてご講演いただきました。ご自身の経験や団体での取り組み、具体的な事例を紹介していただきながら、大変分かりやすく説明していただきました。

子どもたちが自ら「～したい」と強く願うように働きかけを行う動機付けの大切さや、指導者自身の価値観だけでなく、社会に対する問題意識や様々なものに対する興味を持つことの大切さについて教えていただきました。



### <参加者同士の情報交換の様子>

講演後は、参加者同士4人のグループになって、自団体の紹介や今日の学び、多様な体験プログラムを開催する工夫などを話題に、交流していただきました。滋賀県と言えば琵琶湖や歴史なので、琵琶湖や文化財を活かしたプログラムを考えている等の意見が出ました。



### <参加者アンケート>

参加いただいた皆様のアンケートの一部を紹介します。

#### 講演「多様な体験活動の企画のために」～キャンプを例に～について

- ・ 近年のキャンプの傾向と合わせて具体的なプログラムの立案、実際の実践について詳しくお話を伺うことができ、非常に勉強になった。また、「ほめすぎる教育」についての考えを聞くことができ、私自身考えさせられるきっかけとなった。  
(市町教育委員会、公民館・施設関係者)
- ・ プログラムの企画にあたって大切にすべき点や指導者が考えるべき点を学びました。「この活動が子どもたちにとって意味のあるものになるか」を考えないといけないと感じました。  
(社会教育関係団体、しがこども体験学校登録団体)
- ・ 現代の子どもの姿から今何が必要なのかを具体的な取り組みや子どもの姿をふまえて話してくださりととても分かりやすかったです。教育者の資質のお話で、保育者が探ろう理解しようとする姿勢、意欲、心持でいることはやはり大切なのだなと改めて思いました。一人ひとり思いや考えが異なる中で、自分の捉え方を幅広くしていけるよう心がけ、また実践していきたいと思います。ありがとうございました。  
(幼稚園、保育園、こども園)

#### 情報交換について

- ・ 普段はあまり関りが無いような立場の方々と意見を交流することができ、新たな考えを自分の中に取り入れることができた。  
(社会教育関係団体)
- ・ いろいろな意見を聞くことができ考えさせられることが多かった。大学生の方も参加しており、非常によいことだと思った。  
(市町教育委員会、公民館・施設関係者)
- ・ 様々な業種の方と話していい機会になった。あまりこういう機会はないのでありがたいです。  
(しがこども体験学校登録団体)

すまいる・あくしよんの取組を広げよう!



体験を通して  
発見しよう



体験を通して  
発見しよう

【子ども】体験を通して発見しよう

【おとな】体験活動や学びの機会を増やす